

平成 23 年度事業報告

I 概況

長引くデフレ不況、超円高、欧州金融不安、東日本大震災、タイ大洪水等々の影響により日本経済は厳しい状況下が続いている。再生資源市場も市況の低迷や行政におけるリサイクル事業見直し等により課題が多い。そこで、効率的で持続的なリサイクルを実現するために当協会が果たすべき社会的役割は益々高まってきている。

長年の懸案であった古紙持ち去り問題は、当団体の呼びかけにより、東京都が古紙持ち去り問題対策協議会を設置。行政・製紙メーカー・リサイクル業界・警察等による実効性のある具体的対応策をとりまとめ、持ち去り根絶に向けた新たな社会的な枠組みをつくることができた。これを受け、新たに条例施行する自治体、製紙メーカーによる取引問屋に対しての宣誓書の提出等の取り組みが実施された。リサイクル業界でも平成 23 年 6 月に業界を網羅した 7 団体による古紙持ち去り問題意見交換会を発足し、持ち去り根絶にむけた具体的な対応策が展開されはじめた。

他方で、再生資源流通のグローバル化に対応し、アジア諸国と協力関係構築の可能性を探るため海外の調査や、専ら物業界が陥りやすい廃掃法の解釈の研修会、行政回収と集団回収のあり方についての地域懇談会、東京都の静脈物流効率・高度化に向けた検討に協力する等再生資源流通の持続・効率化に向けた取り組みを実施してきた。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災は、戦後最大の災禍を日本にもたらした。当協会は会員各位や東京都等との連携により仙台市の災害廃棄物の処理支援、義援金の寄付、支援物資の提供等に努めてきた。

東京のリサイクルの質を高めるシステムを構築することが当協会の最大の目標である。協会内部のみならず行政をはじめとした関係諸機関との連携・協力をいっそう強化し、これからも地道に公益事業の展開を図っていくものである。以下に平成 23 年度に実施した個別事業を報告する。

II 個別事業

1 再生資源リサイクルに関する調査研究及び情報交換事業

都民・行政・リサイクル関連業界及び当協会会員向けに次の調査研究活動を行った。

(1) 効率的・持続安定的なリサイクルシステム整備の調査

行政回収において民間の力を効率的・持続的に発揮させるリサイクルシステムのあり方を検討するために、とりわけ今年度は、都一般廃棄物対策課からの協力を受け、リサイクル事業と廃掃法との関係について整理を行った。

(2) 古紙持ち去り防止策の具体的検討

東京都環境局による「古紙持ち去り問題対策協議会」のとりまとめを受け、リサイクル業界としての具体的対応を図るため、以下7団体による「古紙持ち去り問題意見交換会」を組織し、業界としての持ち去り業者排除方法の検討や持ち去り業者との識別制度について検討を行った。

構成団体：全国製紙原料商工組合連合会/日本再生資源事業協同組合連合会/関東製紙原料直納商工組合/関東資源回収組合連合会/東京都製紙原料協同組合/東京都資源回収事業協同組合/社団法人東京都リサイクル事業協会

また、警視庁へのヒアリングや日中商品検査(株)等への協力要請等を東京都環境局及び古紙再生促進センターの協力を得て実施した。

(3) 小規模事業所における古紙リサイクルシステム（東商エコリーグ）の調査

<東京商工会議所受託事業>

東京商工会議所とタイアップし平成7年より展開してきた、小規模オフィス等における古紙回収システムの情報収集と回収量のとりまとめを実施した。(22年度報告書を平成23年6月に発行し、HPで公開)

(4) 国内外におけるリサイクル事情の調査

国内外におけるリサイクル実践都市への視察を通じて、リサイクルシステム構築の工夫や再生資源流通の動向等について情報収集するための以下の調査研究を行った。

ハノイ海外視察会（11/20～24、訪問先：ベトナムハノイ都市環境公社、JP コアレックス社 参加者：6名）

(5) 東京都環境局「静脈物流効率化・高度化検討」への協力

東京都の調査事業「静脈物流効率化・高度化の検討」に対して、リサイクル業界の実情を説明するとともに、検討委員会への参加（2回12/26・3/6、会長上田雄健）や既存システムへの負の影響が及ばないよう都との意見交換会(11/29)や経過説明会(3/23)を実施した。

(6) 新聞整理袋に関するルール徹底の要望

東京都が組織した「新聞リサイクル推進会議」新聞リサイクルのルールを徹底するため、市民等から紙製からビニール袋への変更等について苦情があり次第、適宜、当該新聞販売店の本部に対して、問題地域への改善要望を行った。

2 再生資源リサイクルに関する研修事業

会員および各行政機関等に対して、都内各地のリサイクルの現状や課題等を情報収集する場を提供するため、「地域懇談会」を開催した。

① 第1回地域懇談会「杉並区の氏名公表を受けた今後の持ち去り対策について」

(10/18、場所：東京しごとセンターセミナー室、参加者：34名)

- ② 第2回地域懇談会「国の官公需施策と廃掃法委託基準等について」(12/5、場所：東京しごとセンターセミナー室、参加者：32名)
- ③ 第3回地域懇談会「第1回連続検討 行政回収と集団回収のあり方について」(3/21、東京体育館第一会議室、参加者 32名)

3 再生資源事業を行う者に対する相談指導事業

都内におけるリサイクルの全体状況等を把握し、業界関係者への相談・指導に役立てるために、上記地域懇談会を3回開催するとともに、全会員団体に対して、「東京の資源循環 2011」(東京都環境局)、「地方自治体紙リサイクル調査報告書(抜粋)」((公財)古紙再生促進センターH24.1)等を配付した。

4 再生資源リサイクルを円滑に行うための普及事業

(1) リサイクルフォーラムの開催

平成23年6月の東京都古紙持ち去り問題対策協議会のとりまとめを受け、関係機関の連携・協力体制の強化を図ろうと「古紙持ち去り問題の根絶をめざして」をテーマにフォーラムを開催した。

内容①基調講演：「都内の古紙持ち去り対策」東京都環境局廃棄物対策部長木村尊彦氏

内容②リレートーク：

<23区>：小島正明氏(杉並区環境清掃部清掃管理課資源対策担当係長)

<多摩>：小杉浩文氏(八王子市環境部ごみ減量対策課主査)

古紙再生促進センター：木村重則氏((公財)古紙再生促進センター専務理事)

古紙回収業界：吉川太郎氏(東京都資源回収事業協同組合理事長)

古紙問屋業界：新井勝夫氏(関東製紙原料直納商工組合東京都東支部長)

市民団体：中村正子氏様(環境ジャーナリスト・古紙ネット代表)

司会：山本耕平氏(株ダイナックス都市環境研究所所長)

(7/21、場所：ホテルラングウッド鳳凰の間(荒川区) 参加者：約182名)

(2) リサイクル職場体験学習の実施

東多摩再資源化事業協同組合と協力し、東村山市立第二中学校1年生を対象に、回収車に同乗して行なう回収作業や選別ヤードでの作業体験、リサイクル講習会を開催した。

(2/8~10、参加者：7名)

(3) 東京都消費者月間事業交流フェスタ出展

消費者問題の解決を図ろうと、都内の消費者団体と東京都の協働により開催。環境エリアに出展し、古紙回収のポイントを問題にしたクイズラリーの他、パネル展示・広報誌・リーフレットの配布を行なった。(10/14~15、場所：新宿西口広場イベントコーナー、広場訪問者：約2万8,000人)

(4) 講演会への講師派遣

中央区の依頼により、9/7 に清掃リサイクル講演会「意外と知らない！？リサイクル」の講演を行った。講師：戸部 昇氏（(社)東リ協会副会長）永田博孝氏（同広報委員長）
場所：中央区役所大会議室

神奈川県リサイクル産業団体連合会の依頼により、11/13 に「東京の古紙持ち去り対策」の講演を行った。講師：上田雄健氏（(社)東リ協会会長）、佐々木義春氏（同総務委員長）
場所：横浜ホテルキャメロットジャパン

(5) セミナーの開催

廃棄物資源循環学会との共催により、会員企業の協力を得て講義と現場見学による「市民と学生のためのセミナー」を2回実施した。

① びんのリサイクル：7/22 「リターナブルびんのリサイクル」講師：戸部 昇氏、現場見学：(株)トベ商事生きびん洗塚施設・PET ボトル等選別ヤード（足立区）

② 古繊維のリサイクル：9/27 「古繊維のリサイクル」講師：木村 誠氏、現場見学：キムラセンイ(株)選別ストックヤード（加須市）

(6) ホームページの更新

ウェブサイトを通じて、協会の活動や会員情報、広報誌・報告書の掲載等を行なう他、会員専用サイトでは協会事業情報を提供する。年6回記事を更新した。

5 機関誌の発行事業

都民・事業者・行政・協会会員を配布対象に、当協会の PR とリサイクル推進への理解と協力を求めるために、リサイクル情報誌「WE♥りさいくる」第20号を発行した。(7,000部) 主な記事は以下のとおり。

① 第20号(1/5発行)「H23 リサイクル10大ニュース」「リサイクルフォーラム『古紙持ち去り問題の根絶をめざして』報告」「再生資源市場の近況」他

6 顕彰及び表彰に関する事業

平成23年4月19日～5月7日に実施した仙台市の災害廃棄物処理支援に協力企業6社に対して、感謝状を贈呈した。(3/21、東京体育館第一会議室)

7 その他法人の目的を達成するための事業

東京都知事及び仙台市長より日本大震災に伴う災害ごみ撤去に関する支援要請を受け、都内自治体・関連団体との共同により、平成23年4月19日～5月7日にかけて仙台市へ人員・車両派遣を実施した(16名・8車)。

また、会員団体等に義援金の協力を呼びかけ、その窓口になるとともに、当協会からも寄付を行った(12団体・個人より377万円、当協会30万円)さらに関東古繊維協会の協力により軍手120ダース、当協会からはゴム引き手袋200双を仙台市に提供した。

以上

決算報告書

第 6 期

自) 平成 23年 4月 1日

至) 平成 24年 3月 31日

<決算書類及び財産目録>

収支計算書	1
正味財産計算書	5
貸借対照表	6
計算書類に対する注記	7
財産目録	8

社団法人 東京都リサイクル事業協会

平成23年度収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

勘定科目		決算額			備考(千円)			
		大	中	小科目		補正予算額	決算額	差異
1				入会金収入	0	0	0	
	1			入会金収入	0	0	0	
2				会費収入	14,105,000	14,274,536	169,536	
	1			正会員会費収入	5,460,000	5,580,000	120,000	広域(7):@360×6、@120×1 地域(22):@120×13、@150×3、@180×2、@210×1、@240×3
	2			協賛会員会費収入	3,000,000	3,000,000	0	@120×25
	3			賛助会員会費収入	620,000	620,000	0	@40×11、@60×1、@120×1
	4			一般賛助会員会費収入	1,050,000	1,054,166	4,166	@50×21、@54×1
	5			特別会費収入	3,975,000	4,020,370	45,370	
		-1		調査研究関連	1,655,000	1,740,000	85,000	ハノイ視察会
		-2		研修関連	330,000	449,770	119,770	地域懇談会2回、情報連絡会等
		-3		普及啓発関連	1,990,000	1,734,000	△ 256,000	RFフォーラム・広報誌協賛・関連団体シンポ協賛
		-4		その他	0	96,600	96,600	会議室支援等
3				事業収入	2,086,000	2,086,000	0	
	1			再生資源リサイクルに関する調査研究及び情報交換事業	300,000	300,000	0	東商エコリーグ調査委託
	2			再生資源リサイクルを円滑に行うための普及事業	130,000	130,000	0	会・神奈川県リサイクル産業団体連合会講演講師派遣
	8			その他法人の目的を達成するために必要な事業(仙台市廃棄物処理支援)	1,656,000	1,656,000	0	仙台市災害廃棄物処理支援委託
4				寄附金	0	0	0	
	1			寄附金	0	0	0	
5				補助金等収入	0	0	0	
	1			東京都補助金収入	0	0	0	
6				雑収入	2,000	2,008	8	
	1			受取利息	2,000	2,008	8	
	2			雑収入	0	0	0	
当期収入合計(A)					16,193,000	16,362,544	169,544	
前期繰越収支差額(B)					10,429,000	10,429,201	201	
収入合計(C)					26,622,000	26,791,745	169,745	

Ⅱ 支出の部

勘定科目		決算額			備考 (金額単位:千円)	
大	中	小科目	補正予算額	決算額		差異
1	事業費		9,464,000	9,515,613	51,613	
1	事業に係る人件費		3,456,000	3,639,480	183,480	事務局雑給含む
2	再生資源リサイクルに関する調査研究及び情報交換事業		1,808,000	2,004,594	196,594	
	1	報酬	0	0	0	
	2	会議費	6,000	49,393	43,393	
	3	旅費交通費	30,000	5,720	△ 24,280	
	4	通信運搬費	25,000	26,240	1,240	
	5	事務消耗品費	20,000	47,458	27,458	
	6	印刷製本費	26,000	16,074	△ 9,926	
	7	新聞図書費	11,000	10,500	△ 500	法令集
	8	研究開発費	1,664,000	1,824,004	160,004	ハノイ海外視察会(1,739)
	9	雑費	26,000	25,204	△ 796	
3	再生資源に関する研修事業		62,000	61,347	△ 653	地域懇談会
	1	報酬	22,000	22,222	222	研修会講師(1名)
	2	会議費	6,000	7,652	1,652	
	3	旅費交通費	10,000	12,090	2,090	
	4	通信運搬費	4,000	5,044	1,044	
	5	事務消耗品費	10,000	7,910	△ 2,090	
	6	印刷製本費	10,000	6,430	△ 3,570	
	7	雑費	0	0	0	
4	再生資源事業を行う者に対する相談指導事業		366,000	487,168	121,168	情報交換会
	1	会議費	346,000	467,555	121,555	
	2	旅費交通費	0	1,610	1,610	
	3	通信運搬費	5,000	5,044	44	
	4	事務消耗品費	5,000	5,932	932	
	5	印刷製本費	10,000	5,358	△ 4,642	
	6	新聞図書費	0	1,669	1,669	廃掃法解説書
	7	雑費	0	0	0	
5	再生資源リサイクルを円滑に行うための普及事業		1,511,000	1,486,094	△ 24,906	
	1	報酬	32,000	32,222	222	Rフォーラム講師(3名)
	2	会議費	912,000	913,759	1,759	Rフォーラム会場費・中央区講演打ち合わせ
	3	旅費交通費	102,000	102,648	648	
	4	通信運搬費	10,000	13,484	3,484	
	5	事務消耗品費	10,000	4,944	△ 5,056	
	6	印刷製本費	95,000	66,441	△ 28,559	
	7	新聞図書費	0	0	0	
	8	雑費	350,000	352,597	2,597	関連団体シンポ協賛・出展費(とことん240・横浜RD20・消費者月間30)HP改訂外注(60)

6	機関誌の発行事業	425,000	229,778	△ 195,222	
	1 報酬	0	0	0	
	2 旅費交通費	0	0	0	
	3 通信運搬費	53,000	55,443	2,443	広報誌DM発送費等
	4 事務消耗品費	10,000	7,910	△ 2,090	
	5 印刷製本費	332,000	166,425	△ 165,575	広報誌20号
	6 雑費	30,000		△ 30,000	
7	顕彰及び表彰に関する事業	40,000	15,345	△ 24,655	
	1 報酬	0	0	0	
	2 会議費	0	0	0	
	3 旅費交通費	0	0	0	
	4 通信運搬費	3,000	5,044	2,044	
	5 事務消耗品費	10,000	4,944	△ 5,056	
	6 印刷製本費	15,000	5,358	△ 9,642	
	7 物品費	12,000	0	△ 12,000	
	8 雑費	0	0	0	
8	その他法人の目的を達成するために必要な事業	1,796,000	1,591,807	△ 204,193	
	1 支援者日当	1,440,000	1,440,000	0	仙台市派遣(6社16名)
	2 会議費	3,000	25,200	22,200	
	3 旅費交通費	10,000	5,000	△ 5,000	
	4 通信運搬費	3,000	3,820	820	
	5 事務消耗品費	10,000	19,774	9,774	
	6 印刷製本費	30,000	7,501	△ 22,499	
	7 雑費	300,000	90,511	△ 209,489	

勘定科目			決算額			備考
大	中	小科目	補正予算額	決算額	差異	
2		管理費	5,528,000	5,562,717	34,717	
	1	役員報酬	170,000	110,000	△ 60,000	理事報酬
	2	給料手当	2,000,000	1,816,920	△ 183,080	事務局雑給含む
	3	賞与	0	381,000	381,000	
	4	福利厚生費	0	0	0	
	5	会議費	113,000	127,218	14,218	総会・理事会等室代・お茶代含む
	6	旅費交通費	237,000	320,130	83,130	
	7	通信運搬費	350,000	307,655	△ 42,345	
	8	荷造発送費	163,000	126,088	△ 36,912	郵券、総会・理事会等発送
	9	新聞図書費	53,000	52,596	△ 404	日経新聞
	10	事務消耗品費	200,000	285,968	85,968	文具・事務用品、PC用品等
	11	修繕費	0	0	0	
	12	印刷製本費	400,000	403,138	3,138	コピー代、用紙、封筒印刷等
	13	光熱水費	110,000	100,984	△ 9,016	
	14	地代家賃	882,000	882,000	0	
	15	租税公課	73,000	70,000	△ 3,000	
	16	支払手数料	20,000	20,780	780	
	17	諸会費	15,000	15,000	0	東京商工会議所年会費
	18	交際費	300,000	299,500	△ 500	
	19	税理士報酬	231,000	231,000	0	
	20	雑費	211,000	12,740	△ 198,260	
勘定科目			決算額			
大	中	小科目	予算額	決算額	差異	
3		寄付金	0	300,000	300,000	
	1	寄付金	0	300,000	300,000	東日本大震災義援金(日本赤十字社)
4		特定預金支出	0	0	0	
	1	事業運営資金積立金	0	0	0	
5		雑損失	0	0	0	
	1	雑損失	0	0	0	
6		予備費	1,201,000	0	△ 1,201,000	
	1	予備費	1,201,000	0	△ 1,201,000	
当期支出合計 (D)			16,193,000	15,378,330	△ 814,670	
当期収支差額(A) - (D)			0	984,214	984,214	
次期繰越収支差額(C) - (D)			10,429,000	11,413,415	984,415	

正 味 財 産 計 算 書

平成24年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 増加の部			
1、資産増加額			
当期収支差額	984,214		
	0		
2、負債減少額	0		
増加額合計		984,214	
II 減少の部			
1、資産減少額			
当期収支差額	0		
2、負債増加額	0		
減少額合計		0	
当期正味財産増加額		984,214	
前期繰越正味財産額		10,429,201	
期末正味財産合計額		11,413,415	

貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金	118,696	
	普通預金	8,875,321	
	定期預金	1,813,238	
	未収入金	1,325,000	
	流動資産合計		12,132,255
2	固定資産		
	什器備品		
	工具器具備品	0	
	固定資産合計		0
	資産合計		12,132,255
II	負債の部		
1	流動負債		
	未払い金	477,660	
	預り金	61,180	
	前受金	180,000	
	流動負債合計		718,840
2	固定負債		
	固定負債合計	0	0
	負債合計		718,840
III	正味財産の部		
	正味財産額		11,413,415
	(内当期正味財産増加額)		984,214
	負債及び正味財産合計額		12,132,255

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収入金、仮払い金、未払い金、前受金および預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は2に記載のとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	8,725,181	10,807,255
未収入金	2,140,000	1,325,000
仮払い金	85,000	0
合計	10,950,181	12,132,255
未払金	489,060	477,660
前受金	0	180,000
預り金	31,920	61,180
合計	520,980	718,840
次期繰越収支差額	10,429,201	11,413,415
固定資産	0	0
正味財産	10,429,201	11,413,415

3. 固定資産の取得価格、固定資産除却額および当期末残高はない。

科目	取得価格	固定資産除却額	当期末残高
-	-	-	-
-	-	-	-

財 産 目 録

平成24年3月31日現在

(単位:円)

科 目		金 額	
I	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金		
	現金	現金手許有高	118,696
	普通預金	三菱東京UFJ銀行上野中央支店	8,875,321
	定期預金	三菱東京UFJ銀行上野中央支店	1,813,238
	未収入金		10,807,255
	会費		1,025,000
	事業費(東商エコリーグ等)		300,000
	流動資産合計		12,132,255
2	固定資産		
	什器備品		
	工具器具備品		0
	固定資産合計		0
	資産合計		12,132,255
II	負債の部		
1	流動負債		
	未払い金		477,660
	前受金		180,000
	預り金	源泉所得税・住民税	61,180
	流動負債合計		718,840
2	固定負債		
	固定負債合計		0
	負債合計		718,840
	正味財産		11,413,415